



日本住を快適空間!

ダンネツ通信

2009.Autumn vol.66

発行：株式会社ダンネツ 〒070-8045 北海道旭川市忠和5条4丁目9-17 TEL(0166)61-9151・FAX(0166)61-2044



『ダンネツ通信』手渡し宣言

～原点に戻ってみなさまと向き合います～

（株）ダンネツでは創業時から、みなさま1社1社の元へお伺いしながら断熱の必要性や当社の事業・製品についてご説明し、ご支援を賜ってきました。そこで今年30周年を迎えたのを機に「もう一度原点に戻ってみなさまとお付き合いさせて頂きたい」と決意し、みなさまのご意見等を直接お伺いするきっかけになるよう、これからはこの『ダンネツ通信』を手渡しすることを宣言します。

直接声を聞き、情報提供や意見交換

前号、前々号でもお伝えしているように、ダンネツは今年で創業30周年。そこで様々なプロジェクトを企画していますが、その一つとしてこれから『ダンネツ通信』はみなさまに直接手渡しでお届けすることを、ここに宣言します。

『ダンネツ通信』はお取り引きのある方はもちろん、お取り引きのない方にも弊社の情報や住宅政策の動き、高断熱・高气密化の技術を発信するツールとしてお届けし、みなさまの家づくりに活かしてもらおうという主旨で発行してきました。

その主旨を理解してもらうとともに、みなさまが普段仕事をする中で困っていること、悩んでいることに対して少しでもお役に立てればと、『ダンネツ通信』は担当者が直接みなさまの元にお持ちすることを原則としていましたが、実際には様々な事情で郵送せざるを得なかったことがあったのも事実です。

しかし、より良い工事・製品を提供するためには、みなさまの声を直接聞き、情報提供や意見交換ができる環境を整えることが必要と感じています。弊社の今日があるのも、創業時からみなさまの声を事業の参考とさせて頂いたおかげです。

そこでもう一度原点に戻り、みなさんとしっかり向かい合っ
て仕事をしていこうと、『ダン
ネツ通信』の手渡しを決めた次
第です。

より良い家づくりの お役に立てるように

今年の全国新設住宅着工戸数は8月まで対前年比で3割減と、依然厳しい状況が続いていますが、それでも“良い家を作りたい”と考えるみなさまとエンドユーザーの方々に対し、弊

社はできる限りお役に立ちたいという想いを持っています。

次号以降の『ダンネツ通信』も、弊社の担当者が直接みなさまのところへお持ちしますので、今後ともよろしく願い申し上げます。



『ダンネツ通信』は手渡しでお届けします

特集

ダンネット30年の歩みを振り返る～ Since 1980～

(株)ダンネットはブローイング工事から出発し、現在では現場発泡ウレタン工事やセルローズファイバー吹込み工事、各種断熱パネル製品、基礎断熱型枠、湿式外断熱外装システムまで幅広い工事・製品を取り扱う総合断熱企業としてみなさまのニーズに応えています。今回はこの30年の歩みを振り返りながら、改めてダンネットの各種断熱工事・断熱製品を紹介します。

出発点はブローイング

昭和55年にダンネットは、ブローイング工事業として北海道旭川市で誕生しました。今でこそ北海道では天井断熱でほぼ100%ブローイングが採用されていますが、当時はちょうど北海道での普及が進みつつあった頃でした。

オイルショックの前までは、住宅の天井裏にほとんど断熱材が入っておらず、マット状の断熱材を施工しても断熱材同士の隙間から室内の熱が逃げて、暖房費が余計にかかったり、天井裏で結露を起こしたりするといった問題がありました。ブローイングは細かく粉碎したグラスウールを専用マシンで吹き込むため、天井裏を隙間なく一定の厚さで簡単に断熱することが可能。今では本州でも夏期の暑さ対策や冬期の天井裏の結露防止対策として注目を集めるようになってきました。また、会社設立年には古紙を原料とするセルローズファイバーのブローイング工事や硬質ウレタンフォームの断熱プレー工事も開始しました。

その後、ブローイング工事の技術の確立と普及を進め、平成2年には旭ファイバーグラス(株)と

湿式スーパーブローイング・ブローエースプレー断熱工法(B.S工法)を、平成3年には十條木材(株)と湿式ジェットファイバー・ブローインググルースフィル工法(B.L工法)を、平成7年にはサイコロ状のグラスウールを乾式で吹き込むキュービックブローエース工法(CBA工法)を旭ファイバーグラスと共同開発。特にキュービックブローエース工法は単位面積あたりの重量が軽く、復元力・反発力に優れるので沈下の心配もないなどのメリットが高い評価を受けています。

平成に入りパネル製品を展開

平成に入ると施工の合理化・省力化が住宅業界の課題としてクローズアップされ、それに対応できる製品の開発・販売を進めました。

その一つが断熱材一体の壁・床パネル。平成3年から生産研究を開始し、平成5年に硬質発泡ウレタンと床下地合板およびフレーム材を一体化した『ダンネット床パネル』の生産をスタート。翌平成6年には旭川市に隣接する鷹栖町にダンネットパネル工場を竣工させ、平成7年には硬質発泡ウレタンと構造用面材の針葉樹構造用合板、室内側

下地材のラワンベニヤ、LVLの芯材を一体化した『ダンネット壁パネル』の生産を開始しました。

『ダンネット床パネル』は土台・大引の上にビス留めしてジョイント部分を気密テープ処理、『ダンネット壁パネル』は柱間にはめ込んで構造用合板のミミを柱に釘打ちするだけで、高性能・高品質な構造体を実現可能。誰でも使えるオープンシステムとして市場に提供してきました。

また、これらのパネルを組み合わせ、平成12年には『ダンネットDNG(Dannetsu Next Generation)工法』として次世代省エネ基準適合住宅認定も取得。次世代省エネ基準に対応した住宅を、手間ひまかけることなく建てることを可能にしたほか、床用パネルは床下地合板を28mm厚とし、フレーム材も省略した『根太レスパネル』、そして断熱材に防蟻処理済みのビーズ法ポリスチレンフォーム(EPS)を使い、廃棄時には分別解体処理も容易に行える工夫を施した『根太レスパネル-EPS』も相次いで製品化。平成14年には『根太レスパネル』を利用した『ダンネットパネル構法』で(株)日本住宅・木材技術センターの木造住宅合理化システム認定も取得しました。


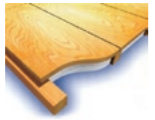




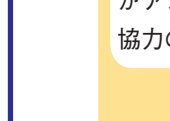
湿式外断熱システムの普及推進

この間、平成5年には宇都宮営業所を開設して関東での営業をスタートさせ、現在では関東に6支店を展開。平成13年には基礎断熱型枠工法部

材『かんたんベース』を商品化し、基礎工事の合理化・省力化をサポート。ビーズ法ポリスチレンフォーム製で、セパレータの取り付け位置を選ばないことや、北海道でも次世代省エネ基準に余裕で対応できる断熱厚などの特徴が支持され、多くの物件に採用されてきました。

平成15年にはドイツ・シュトー社の湿式外断熱外装システム『シュトサーモ クラシック』の北海道地区代理店になり、取り扱いを開始。断熱材のビーズ法ポリスチレンフォーム、下地材のベースコート、仕上げ材のトップコートいずれも高い透湿性を有し、通気層が不要になるなど、優れた塗り壁の意匠を容易に実現可能です。ベースコートとトップコートはアクリル樹脂製なので耐クラック製にも優れ、主にRC造の外断熱改修物件を中心に施工実績を重ねているところです。

そして平成18年には『シュトサーモ クラシック』や『かんたんベース』用のビーズ法ポリスチレンフォームを生産する旭川第2工場を稼働。平成20年には『シュトサーモ クラシック』の技術・部材を活用し、ビーズ法ポリスチレンフォームにあらかじめ塗り壁仕上げの下地となるベースコートとグラスファイバーメッシュを工場施工した湿式仕上げ用プレコーティング外貼り断熱材『そとだんパネル』を開発。新築・既築を問わず木造住宅でも採用しやすい断熱製品として普及を進めています。

平成20年	平成18年	平成15年	平成14年	平成13年	平成12年	平成9年	平成7年	平成6年	平成5年	平成3年	平成2年	平成元年	昭和61年	昭和58年	昭和55年
▼『そとだんパネル』を開発・販売開始。	▼旭川第2工場稼働開始。	▼『シュトサーモ クラシック』取り扱い開始(北海道地区代理店)。	▼(株)日本住宅・木材技術センター木造住宅合理化システム認定(ダンネットパネル構法)。	▼『かんたんベース』開発・販売開始。	▼基礎断熱型枠工法「かんたんベース」開発に着手。	▼『根太レスパネル』開発・販売開始。	▼創業賞・太田吉四郎社長(現会長)が北海道産業員献賞を受賞。	▼(株)日本住宅・木材技術センター木造住宅合理化システム認定(ダンネットパネル工法)。	▼『根太レスパネル-EPS』開発・販売開始。	▼省エネルギー建設技術評定申請のため、湿式工法研究着手。	▼断熱床パネル生産研究開始。	▼断熱床パネル生産研究開始。	▼断熱床パネル生産研究開始。	▼断熱床パネル生産研究開始。	▼断熱床パネル生産研究開始。
															
そとだんパネル	根太レスパネル-EPS	かんたんベース	CBA工法	ダンネット壁パネル	ダンネット床パネル	本社屋	ウレタン吹付工法	ブローイング工法							

アンケートご協力をお願い

ダンネットでは、住宅現場からのご意見・ご要望を今後の事業に反映させ、よりお役に立てる工事・製品をご提供するため、今年10月に『ダンネット通信』をお届けしているみなさまにアンケート調査を実施する予定です。

大変お忙しい時期に恐縮ですが、弊社担当者がアンケート調査の件でお伺いした時には、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(株)ダンネット



太陽光発電システム 設置時の注意点は？

Q…このところお客様から太陽光発電に関する問い合わせを受けることが多くなってきました。実際に設置する場合

には、どんなことに注意したらいいのでしょうか？

A…今年に入り、国からの補助金復活や余剰電力の買取価格倍増などによって、エンドユーザーの太陽光発電に対する関心はかなり高まっている様子。トラブルを回避し、最大限の効果を得るため、十分な知識を持ったうえで、適切に設置することを心がけたいものです。

まず、設置工事については使用する太陽光発電メーカーの研修を受けた登録店が行うことが大前提。ほとんどのメーカーは10年保証を行っていますが、保証を受けるには登録店の施工であることが必要条件だからです。

次に設置場所。多くの住宅では屋根に設置していますが、地上に設置するという選択肢もあります。方位や角度が同じであれば、どちらでも発電量は一緒ですが、地上設置の場合は水洗いしやすいなどメンテナンスが容易になるのがメリット。



国の政策によって注目度が一気に高まった太陽光発電システム。高い効果が得られるよう適切な施工方法を覚えておきたい

ただ、基礎や架台にコストがかかることと、敷地にある程度の広さが求められることがデメリットと言えるでしょう。

また、切妻など勾配屋根ではなく、陸屋根（フラットルーフ）に設置する場合は、架台の重量にも注意したいところ。あまりに架台が重いと、ソーラーパネルが風を受けた時に家が揺れることもあるからです。

ソーラーパネルを設置する方角については南面、角度については30度が理想的と言われていますが、北海道は40度前後、沖縄は10度前後の角度が最適と言います。ただし、角度はプラスマイナス10度程度なら発電量はさほど低下しないようです。

●編集●後●記●

◆民主党政権がスタートしました。矢継ぎ早に色々なマニフェストを断行する旨を発表していますが、変革には思い切った行動やスピード感が求められると思います。経済もよい方向に向かうよう願っています。(佐野)

♣いよいよ今月の引き渡し物件から瑕疵保険加入または保証金供託が義務化となりました。「一部の悪徳業者のために、なぜ必要な出費を強いられるのか」という声を多く聞くと、本当に必要なことだったのか考えざるを得ません。(水越)



株式会社ダンネット

ホームページURL <http://www.dan-netSU.co.jp/>
E-mailアドレス info@dan-netSU.co.jp

「快適な住まいづくり」はお任せ下さい！

●フローイング工事各種 ●外断熱工事 ●気密工事
●ウレタン吹付工事 ●断熱建材製造販売 ●住宅性能診断

■本 社	〒070-8045 旭川市忠和5条4丁目9-17	TEL(0166)61-9151 FAX(0166)61-2044
■旭川第一工場	〒071-1248 上川郡鷹栖町8線西2号	TEL(0166)87-4442 FAX(0166)87-4888
■旭川第二工場	〒070-0014 旭川市新星町514番地1	TEL(0166)21-7080 FAX(0166)21-7080
■札幌支店	〒003-0869 札幌市白石区川下2127番地4	TEL(011)875-3966 FAX(011)875-3971
■外断熱事業部	〒003-0869 札幌市白石区川下2127番地4	TEL(011)875-3969 FAX(011)875-3971
■ウレタン事業部札幌事務所	〒003-0869 札幌市白石区川下2127番地4	TEL(011)875-3972 FAX(011)875-3974
■旭川支店	〒070-8045 旭川市忠和5条4丁目9-17	TEL(0166)62-7575 FAX(0166)61-1715
■帯広支店	〒080-2460 帯広市西20条北2丁目27-10	TEL(0155)41-4101 FAX(0155)41-4105
■釧路支店	〒088-0621 釧路郡釧路町桂木5丁目15	TEL(0154)36-1790 FAX(0154)36-1844
■北見支店	〒099-0878 北見市東相内町174番地16	TEL(0157)36-3557 FAX(0157)36-3433
■北関東支店	〒362-0047 埼玉県上尾市今泉1丁目27-4	TEL(048)783-1666 FAX(048)783-1667
■千葉支店	〒262-0011 千葉県千葉市花見川区三角町16番2	TEL(043)258-4065 FAX(043)258-4025
■宇都宮支店	〒321-0932 栃木県宇都宮市平松本町362-6	TEL(028)636-1266 FAX(028)636-2675
■平塚支店	〒254-0018 神奈川県平塚市東真土4丁目2-69	TEL(0463)54-6484 FAX(0463)54-2430
■水戸支店	〒310-0841 茨城県水戸市酒門町字西割4312-3	TEL(029)248-6761 FAX(029)248-6762
■ウレタン事業部東京支店	〒351-0002 埼玉県朝霞市下内間木301番地	TEL(048)458-1455 FAX(048)456-3877
■ダンネット信州	〒399-0033 長野県松本市大字笹賀5130-1	TEL(0263)26-0811 FAX(0263)26-1016